

現在の景気：県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いている。非製造業では、観光や飲食などの対面型サービス業の回復が続いているほか、自動車や百貨店の販売も底堅く推移している。製造業では、海外需要の鈍さなどから生産活動の足踏みが続いている。この間、建設需要は、住宅着工に建設コスト上昇等の影響がみられるが、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展などを背景に総じて底堅く推移している。

3か月程度の見通し：非製造業は、物価高や人手不足の影響を受けつつも、対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続くとみられる。製造業では、海外需要の鈍さの影響が続くとみられる。

個人消費：①上向き。②1月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比3.7%増と3か月連続で前年を上回った（19年同月比では10.4%減）。新型コロナウイルスの5類への移行後、初めての正月を迎え、福袋など初売りが好調だったほか、例年と比較して気温が高めだったことから、春物に動きがみられた。2月入り後は、季節物衣料のほかバレンタイン商戦が好調だった模様。1月の自動車登録台数は、同3.7%減と17か月ぶりに前年を下回った（19年比では6.9%減）。一般乗用車（前年同月比4.4%増）は前年を上回ったが、軽自動車は認証試験の不正問題の影響などから減少した（同19.4%減）。

住宅建築：①一進一退。②1月の新設住宅着工戸数は前年同月比16.1%増加し、2か月連続で前年を上回った。分譲（同15.5%減）は減少したが、貸家（同59.2%増）、持家（同2.9%増）が増加した。

設備投資：①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、1月の工事床面積（年度初来累計）は前年比6.0%減少し、工事予定額は同13.8%増加した。ひまわりベンチャー育成基金（調査研究部門：千葉経済センター）による県内企業198社アンケート調査（12～1月実施）では、23年度の設備投資計画額（全産業、12月末時点）は、22年度実績額の2.4倍で、期初計画比でも0.8%増の増額修正となった。

公共工事：①増加基調。②1月の県内公共工事請負額（年度初来累計）は、前年同月比1.6%減少した。県（前年同月比9.5%増）は増加したが、独立行政法人等（前年同月比21.0%減）、国（同7.9%減）、市町村（同6.0%減）が減少した。

輸出：①底入れ。②1月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比15.6%増と3か月連続で増加した。成田空港は、半導体等製造装置（同35.3%増）や科学光学機器（同17.6%増）などが増加し、同14.8%増と2か月連続で前年を上回った。千葉港は、鉄鋼（同66.3%増）有機化合物（同17.8%増）などの増加により、同17.4%増と5か月連続で前年を上回った。木更津港は、鉄鋼（同44.7%増）や自動車（同29.0%増）などが増加し、同41.6%増と12か月連続で増加した。

生産活動：①一進一退。②12月の県鉱工業生産指数（季調済）は、87.4（前月比1.8%低下）と2か月連続で低下した。食料品工業（同2.0%上昇）などは上昇したものの、化学工業（同7.6%低下）、鉄鋼業（同3.6%低下）などが低下した。

観光：①拡大。②県内の観光・宿泊施設では、好調な入込が続いている。県南では、花の見ごろを迎え、鴨川市では1月にオープンした「菜な畑ロード」（鴨川中学校近くのほ場に設けられた1万坪の敷地の菜の花畑で、散策や花摘みを楽しめる）が多くの人出で賑わったほか、南房総市では早春の房総路を沿道の草花を見ながら歩く「南房総フラワーマーチ」のイベントが開催された（2月17～18日）。

雇用情勢：①足踏み。②1月の有効求人倍率（季調値）は、前月比0.03ポイント低下の0.95倍となった。有効求職者数（前月比0.8%増）が増加した一方、有効求人者数（同1.5%減）が減少した。

【トピックス】

- 横芝光町は、持続可能な公共交通サービスの提供を目指して、2月2日より自動運転バスの通年運行を開始した。国土交通省の補助金を活用して導入したEV自動運転バスが、町内の駅と商業施設、病院を結ぶ5.5kmを走行する。
- 成田国際空港会社（NAA）と自治体、学識者らによる「新しい成田空港」構想検討会が1年ぶりに開かれ、計画されている新ターミナルの規模や形状のほか、ターミナルへの新駅の設置案などが提案された（2月6日）。新ターミナルの延べ床面積は100～120万㎡の想定で、既存の3つのターミナルの1.25倍の大きさとなる。
- 2月16日、館山市に「道の駅館山グリーンファーム」が開業した。千葉県で30番目の道の駅となる。約2.3万㎡の敷地に、野菜や果物の直売所や地元産のジビエや生乳などが味わえるレストランが設けられ、施設内の農園で野菜や花の収穫体験ができるなど、「食と体験のテーマパーク」をコンセプトとしている。